

**胃癌の手術後の定期受診ならびに加療のために受診経験のある
患者さんまたはご家族の方へ
臨床研究に対するご協力をお願い**

愛媛県立中央病院では、上記の病気で受診された方の検体や診療情報(カルテ情報)を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。

本研究への協力を望まれない場合、研究についての詳しい情報を希望される場合などは、その旨、以下の「問い合わせ先」までご連絡をお願いします。本研究への協力を望まれない旨のご連絡を頂いた場合は研究対象からは除外させて頂きますので、検体や診療情報は利用されず、また他の研究機関への提供も行いません。

【研究課題名】 当院で胃切除を施行した術中腹水・腹腔洗浄細胞診陽性胃癌症例の検討

【研究の目的】

胃癌において術中腹腔洗浄細胞診陽性(CY1)は遠隔転移と診断され、pStageIVとなる。CY1以外に非治癒因子が無い場合は切除も考慮され、胃癌治療ガイドラインでは胃切除時にCY1が判明した場合、手術を先行し術後化学療法を行うことが弱く推奨されています。当院での治療成績(化学療法の内容、予後)について検討します。

【対象となる方】

2014年1月1日から2024年12月31日で、当院で胃癌に対して、手術加療を受けられ、術中に採取された腹水ならびに腹腔洗浄液の細胞診で、癌細胞を認めた患者さんを対象とします。

【使用する検体・診療情報】

カルテ情報: 診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果(血液検査、画像検査、心電図検査、画像検査、病理検査)

【研究期間】 臨床研究審査委員会承認日から2027年12月31日

【個人情報の取扱い】

使用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

愛媛県立中央病院 消化器外科 医長 神崎 雅之

【問い合わせ先】

松山市春日町 83 番地

愛媛県立中央病院 消化器外科 医長 神崎 雅之

電話 089-947-1111 FAX 089-943-4136